

■編集

西区役所総務企画課広聴係 〒063-8612 西区琴似2条7丁目1-1

TEL 641-2400 内線224~226 FAX 641-2405

◎西区広報番組「西区情報プラザ」FMラジオ三角山放送局76.2MHz
毎週月曜日午前11時~

◎西区ホームページ <http://www.city.sapporo.jp/nishi/>

◎区民のページ 2005・11



まちのり



ジャパンマイコンカーラリー北海道大会
で優勝した

おぐら たろう
小倉 太郎君(18)

マイコンカーラリーとは

車体に搭載されたマイコンやセンサーを駆使して、コースを読み取って進み、タイムを競う競技。毎年1月に札幌で全国大会が開催されている。一般の部と高校生の部があり、今年の高校生の部では全国各地の2,241台中、予選を勝ち抜いた120台が全国大会に参加した。近年、技術レベル、走行タイムの向上が見られ、注目度も高まっている。



■今年1月の北海道大会で優勝したマシン
“オグラケ@2”

「高校の三年間これしかやっていないんじゃないかな。でも、三年間打ち込むことがあったのは、とてもよかったと思います」と話すのは、琴似工業高校三年の小倉太郎君です。もともと工作が好きだった小倉君は、高校入学後、ロボット研究部に入学し、マイコンカーの製作を始めました。マイコンカーは、ラジオコンカーのように人間がコントローラーするのではなく、車に取り付けられたセンサーがコースを読み取って走ります。特に難しいのはカーブが連続するコースで、ここでコースを外れ、失格になる車も多数あ

作って分かる「ものづくり」の楽しさ

「ラジオコンカーは、店で買ってきて、説明書どおりに組み立てれば動きます。でも、マイコンカーは全部オリジナルの部品で、車体の板から基盤まで全部手作業で作ります。時間も手間も掛かりますが、そこが面白いと思う」とマイコンカーの魅力を話します。今年北海道大会では、二着以下に大差をつけて優勝。そして全国大会では予選を通過し、決勝トーナメントでベスト16に残りました。タイムを縮めるには、車体(ハード)とプログラム(ソフト)をいかに合わせるかが重要だといいます。車体を改良し、それに合ったプログラムを入力する。そして実際に走らせる。うまく走らなければ直す。このように地道な作業を何十回、何百回と繰り返します。「授業が終わったあと、毎日残ってやりました。夏休みもほぼ毎日でした」と話す小倉君。「今年の目標は全道大会を連覇し、全国でも上位入賞を狙うこと。大会が終わったら、友達とスノーボードに行きたいですね」。高校生活最後の大会に向け、忙しい日々が続きます。

区民のページで取り上げてほしいテーマなど、皆さんからのご希望やご意見をお寄せください。はがきファクスEメール nishi@city.sapporo.jp 西区総務企画課広聴係(上欄)へ。